



創立 1995 年 10 月 18 日

気軽に交流を楽しむクラブ

2013～14年度 テーマ ー優れた運営の仕組みを継承し、会員活動をより楽しくしようー

### 第 217 回例会

日 時：平成 25 年 11 月 14 日(木) 8～9 時

場 所：野外研修の往路バス内

出席者：40 名 欠席者：31 名 出席率：56.3%

(会員総数 71 名 休会 0 名)

#### 開会 戸田例会委員長の司会で開会

本日の配布資料を確認した。

#### 1. 挨拶 荒会長

本日は野外研修に多数参加頂きまして有難うございます。実は私自身は、東京はもう見るところは無いと思い込んでおりました。それなりに東京は身近なところですので、知っているつもりになっていました。ところが、見学のポイントをよく読んでみましたら、ああ、ここは見えてないな、知らないな、という所が多いのに気が付きました。30～40 年の間に、街が大きく変わっているようです。欧米の街では、こんなに早い変化はないと聞いています。いつか、都市計画の先生にもお話を伺いたいなと思いました。それに、いま完成している街が、同じ佇まいで、何時まで存続するのかと興味が湧きました。

報告事項ですが、今年度は、クラブ創立 20 周年 {2015 (平成 27) 年 10 月 18 日} の記念事業を企画立案すべき年度を迎えております。しかし記念事業の準備を進めるには、今期の理事会だけでは、任が重すぎますので、直近の会長、幹事を経験された有識者の方々に、座談会形式でご参集いただき、楽しい提言を頂くことに致しました。座談会の結果や、進行状況はその都度、例会で報告させて頂きたいと考えていますので宜しくお願ひします。

#### 2. 幹事報告 馬場幹事

(1) 「創立 20 周年に関する座談会」の立ち上げについて

荒会長の就任挨拶 (7 月) には、“創立 20 周年の準備を開始する”とあります。11 月理事会では、その記念行事に関連して①メイン・イベント (講演会や演奏会など)、②イベント会場の手配、について早期に手を打つ必要があることを再確認しましたが、更にその具体化に向けて現会長・幹事を含む最近 5 代の会長・幹事で構成する表記の会 (計 10 名で構成) を立ち上げて、創立 20 周年関連の重要事項について理事会からの諮問に対して勧告あるいは助言を頂くことに致しました。11 月中にも第 1 回の会合を開催予定です。

(2) 「宇宙の学校」関連事業の委員会化について

同じく荒会長の就任挨拶に“「宇宙の学校」関連事業について当クラブ内組織の検討をおこなう”とあります。本件に関して、①9 月理事会で委員会化する方向を決定、②「宇宙の学校」関係者に具体案の検討を依頼し案を受領、③11 月理事会で②の案を審議して承認、の手順を経て下記を決定しました。なお、本件は関係する外部組織 (KU-MA、八王子市役所関係、次期会場提供者等) との関係で来年 1 月には当クラブ内の正式決定が必要になります。そのために 12 月の臨時総会に諮る予定です。

1) 地域奉仕委員会を発展拡大して 3 つの委員会を設置する。

① 地域奉仕・生涯学習委員会・・・現在の地域奉仕委員会を改称。

② 地域奉仕・宇宙の学校委員会・・・宇宙の学校関連事業を担当する。

③ 地域奉仕・特設委員会・・・いちよう祭り、健康フェスタ等を担当。

2) 地域奉仕・宇宙の学校の担当理事1名を追加する。特設委員会は副幹事が兼務で担当する。

### (3) 「会則」と「運用細則」の改定について

上記2項に関連して、「会則」と「運用細則」の改定が必要になりますが、本件も12月の臨時総会に諮るべく改定案を作成中であります。なお、①定時総会の開催時期、②委員会構成に関して現状を追認する形の改定を併せて審議頂く予定です。

### (4) 総会議事録の押印省略を可とすること

従来、総会議事録には議長、書記、2名の議事録署名人が署名し、更に押印していましたが、一般社会の動向及び当クラブの性格（法人格を持たない）を踏まえて、今後（7月臨時総会を含む）は押印を省略可とすることにしました。

## 3. 委員会報告

### (1) 例会委員会 戸田委員長

本日の会員総数71名、出席者数40名、欠席者数31名、出席率56.3%です。

### (2) 情報委員会 田中委員長

「プロバスだより第216号」を発行しました。今回の編集は阿部和也会員です。この号から印刷紙の質と写真の画素数を上げ、より鮮明にしました。ホームページについては同好会欄を更新して頂きたい、その原稿の作成をお願いします。原稿は12月の例会までに矢崎会員に提出して下さい。

### (3) 会員委員会 荻島委員長

- ・ クラブ全体の会員名簿を作成し、入退会記録等の整理をした。
- ・ 各会員の個人資料の電子ファイル化も行った。
- ・ 会員のメールアドレス帳を作成し、各委員長に配布した。必要なメールアドレスは委員長から入手して下さい。

### (4) 研修委員会 河合委員長

本日の野外研修の行程、見学資料等の説明があった。

行程は、竹芝小型船ターミナル - - - 視察船「新東京丸」で東京湾を一周 - - - 竹芝小型船ターミナル - - - お台場の東京ベイ有明ワシントンホテルで昼食 - - - 歌舞伎座見学 - - - JPビ

ル(旧東京中央郵便局)と東京駅丸の内口の見学。

### (5) 地域奉仕委員会 内山委員長

- ・ 生涯学習サロンの準備は順調に進んでいます。詳しい内容は12月の例会で資料を配布する予定です。
- ・ いちよう祭りの通行手形を46枚、車中で販売しますのでご協力お願いします。

### (6) 交流担当 浅川理事

- ・ 11月10日に多摩プロバスクラブの「10周年記念の記念講演会」が開催され、大勢の皆さんに出席いただきました。来年の2月3日に八王子で関東地区のプロバスクラブ交流会を開催しますが、その内容は12月の例会で紹介いたします。
- ・ 多摩プロバスクラブから12月4日の忘年会の案内状が届いています。出席希望者は11月20日迄に浅川迄ご連絡ください。

## 4. 「宇宙の学校」報告 下山運営本部長

10月26日(土)の八王子北高校会場での第3回スクーリングは、台風のために中止しました。

11月9日に本部会場での第4回スクーリングと閉校式は無事に終了しました。また、11月16日に八王子北高校会場での第4回スクーリングと閉校式を行なう予定です。

来年度からの宇宙の学校のプロバスクラブ内での位置付けがはっきりしたので、これに準じて来年度の活動計画を立てていきます。

## 5. 同好会報告

### (1) お茶の会 宮崎会員

11月のお茶の会は休みにし、12月21日に納会をします。

その他の同好会からの報告はなかった。

## 6. その他

### (1) 戸田会員

シニア・ダンディーズが11月29日9時30分から八王子市議会議場コンサートに出演します。希望者はお出でください。

### (2) 東山会員

本日の例会の名称は、移動例会、野外例会、車

中例会と一定してないが、野外例会としたらどうですか。この件に付き総会等で審議して頂きたい。

## 7. 閉会の挨拶 土井俊玄副会長

本日の野外研修が楽しく、有意義な旅になることを期待しています。

### 野外研修

石田文彦編集担当

#### 東京港

東京都港湾局の視察船「新東京丸」で約1時間半、職員の説明を受けながら、東京港を見学した。竹芝小型船ターミナルを出発し、品川・大井・青海等のコンテナ埠頭、廃棄物処理場、東京ゲートブリッジ等を見回った。2012（平成24）年度に東京港に入港した船舶は25,743隻、取扱貨物量は82,786千トン、貿易額は13.1兆円とのこと。

首都圏4,000万人の消費生活と産業活動に欠くことのできない国際交流、海上物流の基地として、また東京港に広がる埋立地を利用しての街づくり等我々の生活と深く関わっており、さらには日本経済の心臓部でもある。日常生活と異なる世界とその規模の大きさに圧倒された。



（竹芝小型船ターミナルの「新東京丸」）

#### 歌舞伎座

2013（平成25）年4月に、歌舞伎座タワー（地下4階地上29階建ての高層オフィスビル）と歌舞伎座（地下2階、地上4階建て）の複合施設「GINZA KABUKIZA」を竣工した。

歌舞伎ギャラリーでは「歌舞伎 秋の彩り」をテーマに、秋を象徴する風物一月、菊、紅葉をキーワードにした歌舞舞踊「玉兎」、「菊畑」、「紅葉狩」の華やかな展示物を観賞した。次に、公演中

の歌舞伎座新開場柿茸落「吉例顔見世大歌舞伎 仮名手本忠臣蔵」（菊五郎と左團次が競演）を、天井桟敷からガラス越しに1分間だけ観賞した。マルセル・カルネの往年の名画「天井桟敷の人々」を思い出したが、我々は現代版「天井桟敷の人々」か。さらに、歌舞伎俳優のプロマイドを眺め、木挽町広場で土産物店を冷やかす等して華麗な歌舞伎の世界を楽しんだ。



（新歌舞伎座の表玄関）

#### JPビル(旧東京中央郵便局)

JPビルは旧東京中央郵便局敷地に建設された地上38階建のオフィスビルと、既存建物の一部を保存した低層棟で構成され、2012（平成24）年5月に竣工した。低層棟は、保存された旧東京中央郵便局舎の一部と新築部分で構成された地下1階、地上6階のビルであり、ゆうちょ銀行本店、商業施設KITTE（キッテ＝切手）等が入居する。

キッテの6階にある屋上庭園から新丸ビル{2007（平成19）年に立替竣工}、東京駅等が林立する丸の内界隈を展望した。キッテは東京駅と直結し、1～6階吹き抜けとガラス天井の明るいアトリウムが目を引き、98店舗が出店する消費のルツボである。アベノミックスで財布が緩んだ買い物客、おのぼりさん等でごったがえしていた。

#### 東京駅丸の内口

国の重要文化財である東京駅丸の内駅舎は、



2012（平成24）年10月に、1914（大正3）年に創建された姿に保存・復原された。駅舎のシンボルである南北両ドームの内外の意匠を再現し、新たに地下1・2階を増築し、免震装置を設置した。

創建時に再現されたドーム壁内の天井面の鷲と干支等の彫刻、レリーフ等を見上げていると首が痛くなり、旅の疲れが一気に吹き上げてきた。悲しきかな老体。



東京駅を背景に参加者全員の記念撮影をし、帰路のバスで下田研修副委員長から、天候にも恵まれ有意義な研修であったとの挨拶があり、16時30分に八王子に無事帰着した。

## 報告

### 1. 立川会員（全日本プロバス協議会副会長）

荒会長宛に立川全日本プロバス協議会副会長より以下の報告がありました。

11月6日に全日本プロバス協議会会長加藤武氏が亡くなられました。関西、九州、東日本担当の3人の副会長と幹事長との話し合いで、東日本担当の副会長立川が、来年11月の総会まで会長職を代行することになりました。

### 2. 八王子「宇宙の学校」報告

有泉運営本部情報担当

#### 第3回スクーリング

本部会場の第3回スクーリングは、10月19日（土）12時30分より市民体育館分館で開催されました。はじめに、KU-MAの山下法昭先生から、2013（平成25）年11月から2014（平成26）年1月にかけてやってくるアイソン彗星についてのお話がありました。

そして、いよいよ当日のテーマ「ホバークラフトを作ろう」が始まりました。山下先生のご指導のもと、子供たちと父母とスタッフが一緒になって各部品の組み立て作業を行ない、1時間余りで



ホバークラフトができました。ホバークラフトを走らせる子供達は、生き生きとした表情を見せ、広い体育館が狭く感じられました。



なお、10月26日（土）に予定されていた八王子北高校会場での第3回スクーリングは台風のため中止になりました。

#### 第4回スクーリング

11月9日（土）本部会場での今年度最後の宇宙の学校が市民会館分館で開催されました。はじめに、山下先生から11月7日に打ち上げられたソ連の宇宙船ソユーズの紹介がありました。ソユーズには国際宇宙ステーションの船長を務める若



田幸一さんが乗り込んでおり、その話題もあり、当日のテーマ「傘袋ロケットを飛ばそう」が盛り上がりま

した。

その後、家庭学習発表会があり、子供達が家庭で行なった実験が報告されました。

最後に坂倉教育長の挨拶があり、この日最初に

参加受付を済ませた子供に、参加者全員を代表して修了書が手渡されました。

八王子北高校会場での第4回スクーリングは、11月16日(土)15時より視聴覚室で開催されま



した。山下先生のご指導のもとで「ホバークラフトを作ろう」に挑戦し、走行テストが賑やかに行なわれました。時間の関係で「傘ロケットを作ろう」は家庭学習に委ねられました。



続いて、閉校式にうつり、

坂倉教育長の挨拶があり、修了書が代表者に手渡され、ついで各テーブルでスタッフから各自に修了書が手渡されました。最後に、八王子北高校長と下山本部長からご挨拶があり閉会しました。

## 投稿

八王子に住んで30余年 佐々木研吾

### 北野駅南東に自家を取得

1980(昭和55)年3月、八王子にささやかな自家を構えてから、早や33年が過ぎた。80年を超える人生の中で、これほど長く住んだ所はない。まさに第2の故郷である。長沼町の西端に位置しているが、

最寄駅は京王線北野駅で、同駅から南東へ徒歩7~8分の所である。昭和36~37年頃、幼い長女を多摩動物公園に連れて来たことがあった。随分遠い所だと思ったが、今の住居はもっと都心から遠い。

サラリーマンは40歳台半ばを過ぎると自家取



得を迫られるが、私もご多分にもれず、50件を超える物件を見て回った。当時2人の娘を都心に通学させていたので、多少電車に乗る時間が長くても、駅に近いことが必須の条件であった。そこで目に留まったのは、多摩丘陵北端の緩やかな傾斜地で、北野街道に面した織機工場跡地に造成された、45軒ほどの建売ミニ団地(北野グリーンヒル)であった。北下がりの傾斜地のため、南からの陽光を受けるためには、擁壁を築いて建物を敷地の北側に寄せざるを得ない、等の難点はあったが、資金的な制約もあり、これを取得することとした。また、某信託銀行が販売代理となっており、何かあった時に相談できると思った。

さて入居してみると、建築・販売業者との間で予期せざる様々のトラブルが発生した。また、団地内の人々の親睦をどう進めていくか、既存の地域社会の人々とどう関わっていくか、等の課題もあった。そこで、こうした課題を解決していくため、私は家内とともに近隣の同志を誘って、団地の入居者に「自治会」の設立を提唱し、同年の11月に実現した。初代会長は長老にお願いし、私は総務担当となった。後年、私は2回にわたって会長を務めた。

### プロバスクラブに入会、地域奉仕活動に従事

こうして自治会のメンバーとは知り合いとなったが、1998(平成10)年末までは定年後の第2の職場を含めて日本橋へ通勤していたので、朝早く出勤し夜遅く帰る生活では、なかなか地域社会との関わりは広がらなかった。それに、金沢、盛岡と2回単身で赴任し、4年ほど家を空けた。

1999(平成11)年初になって、ようやく自由の身となったが、読み残した多くの本はあるものの、とくに経済関係のものは、情勢が変わってしまい読む気にならない。そこで、知的好奇心を満足させるため、各種の公開講座・セミナーに積極的に参加することとした。地方公共団体、大学、電力・交通等大手企業、マスコミ関係等主催者は多岐にわたり、それなりに面白く有益なものが多かった。一方、高名な先生でも、話は存外つまらないものもあり、要するに玉石混淆であった。現在のプロバス会員、生涯学習サロン参加者の中に、これらの講座・セミナーで一緒になった方も何

人かおられる。

やがて、2000（平成 12）年秋、新聞紙上で、東京八王子プロバスクラブが創立 5 周年を迎えて「生涯学習サロン」会員募集のキャンペーンを展開していることを知り、「私の求めていたものはこれだ」と共感を覚え、早速応募して受講したところ、その内容は、私が求めていたものと一致するところが多かった。学習サロン終了後には、クラブへの入会を希望したが、現会員もしくは八王子ロータリアンの推薦が必要とのことであった。もとより、こうした方々に知り合いは 1 人もいなかったが、野外サロンで言葉を交わした I 氏が、私と経歴が似ていることを知り、同氏に推薦をお願いした。幸いにも、同氏は、私の現役時代の上司と知り合いとのことで、その元上司に聞き合わせをしてくれ、私の入会は円滑に取り運ばれることとなり、2001（平成 13）年 9 月、入会が認められた。このように、私は押し掛け女房ならぬ「押し掛け会員」である。

こうした入会の動機もあって、自分でいうのもおかしいが、常に「額に汗して雑巾がけ」を心がけてきた。とくに、携わる機会の多かった「生涯学習サロン」は、わが子か孫のように可愛い。何回かのサロンで、企画から実践まで携わったほか、話し手として 10 回ほど登板の機会を与えて頂いた。第 7 回サロンの「お金のあれこれ～日本銀行券物語～」を皮切りに、主として最新の内外マクロ経済に関わる話題を採り上げてきた。過去の経済現象であれば資料もあるが、進行中の現象を分析しようとする、これはまことにづらい作業であった。大げさな言い方をすれば、本番前の数日は、血を吐く思いで、パソコンを叩きレジユメを作っている。「それにしては、出来が悪いが…」と言われそうだが…。

このプロバスクラブへの加入によって、地域社会とのつながりは、質的にも量的にも一気に広がった。さらに、クラブ活動を続けるうち、先輩諸氏の奨めなどもあり、「とんとんむかしの会」、「八王子いちょう祭り」、「八王子学会」等へと活動の場が広がり、市民の中の知り合いも、正確に数えたことはないが、今や 300 人を超えるまでになった。北野駅南東の一角に転入した 30 余年前、1

人の知り合いもいなかったことを思うと、まさに隔世の感がある。

私も、遠からず八王子の土に帰ることになると思うが、こうした人々との繋がりを大切に、地域社会の発展のため微力を尽くしていきたいと思う。

## 時の流れ 荻島靖久



唄の文句ではないが、「今の世の中左を見ても右を見ても、真っ暗闇では御座いませんか」という唄が流行した。今は演歌の格好良さには、ついていけない時代である。そこで私なりの意見を書いてみた。

一つ目、今の世の中は情報化社会、コンピューター社会、ひとつの仕事の成果を得るのにスピードが要求される。また都市化をされた社会では、一部の伝統的技術、いわゆる職人芸は、芸能スポーツ等、趣味的嗜好面しか生き残れない。手間ひまかかることは費用の増大につながるので一番きらわれる（人件費が増えることが企業等において）。なぜ、私がこのようなことを言うのかと思うのでしょうか。時代が進歩してなにもかも便利になっている今、ボタンひとつでいろんなことができ、なんでも手をかけずに仕上がってしまう。又、屋外で行なう仕事でも、作業の段取りや長い間先輩達から伝統的に受け継いできた技も機械化され、私らの代で根絶やしにしてしまっただけは申し訳がない。今は物が手に入る快適な生活、そんな便利さの裏側で忘れてはいないのでしょうか。私が思うことが古いのでしょうかねえ。

二つ目、個人が健康でありたいという願望はいつの時代でもかわらないが、食物は栄養面が重視され、医療的にも食物アレルギー、嗜好などによって食事が異なっている。人間生活の流れがゆっくり進んでいた時代は、年長者が経験から若い人を導くことが多く見られるとか、また日常生活が変化（快適性、利便性、満足度等が重要視される）しており、今の生活に必要なものは捨てられている。人と人との暖かい心のふれあい思いやり。自分で考え、工夫してひとつの物を造りあげる喜

び。おやじやおふくろから教わった、自然や季節感を大切にしたい暮らしの知恵。旬の食べもの、おふくろの味。春は竹の子、わらび、うど。夏はなす、枝豆、きゅうり。秋はまつたけ、さつまいも、栗。冬は大根、白菜等の料理をいろいろと教えてもらっていることでしょう。屋外の仕事においても、竹箒の使い方。鉈で薪を割る時は太い方を上にして割るとか、スコップ、かなづち、かけや、ノコギリ等おやじや、おじいさんから教えてもらったものである。人生暮らしの中で衣服、住居、健康、食事のマナー等たくさんある。

三つ目、絆、風評被害、政治、東電、教師の判断ミス等があるが、素晴らしいものもある。科学技術、医療などは今や世界中から注目され、日本の伝統文化も賞賛されている。又、東日本大震災での日本人の冷静沈着な行動。普段意識していなくとも私達日本人の中にある「力」が。それを世界に見せたのが、東京オリンピックの招致ではないでしょうか。だからこそ、我々日本人は時に流されず、いいもの悪いものをしっかり見て、日本固有の暮らしの知恵を大切に未来へ前進してゆくべきでしょう。

終わりに、気分転換にひとこと、お酒の好きな方へ。これは覚えておくと酒の肴になる。新しい杉箸を一本、徳利（または銚子）に差して燗をすると、樽酒の風味がします。ためして見てはどうでしょうか。

## ダンスの思い出 永井昌平



「藤沢嵐子さん死去」の記事が新聞に掲載されていた。彼女はタンゴの女王と呼ばれ、早川真平とオルケスタティピカ東京の専属歌手であり、早川真平氏の奥様でもあった。学生の頃、オルケスタティピカ東京の舞台上でデモンストレーションダンスを踊ったことがある。このコンサートは週1回、3ヶ月間続いた。踊ったのは勿論タンゴであるが、細長い舞台の上での振り付けに苦労したのを覚えている。タンゴといっても、いわゆるアルゼンチンタンゴというダンスとは違

う。社交ダンス（競技ダンス）のスタンダード種目の中のタンゴである。

ちょうど同じ頃、テレビ朝日の「学生玄人」という番組の取材で、やはり3ヶ月間ほど追いかけていた。オルケスタティピカ東京との舞台上で踊るところも取材された。デモンストレーションダンスをはじめ、厳しい練習や競技の場面、ダンスを教えている場面など次々と取材された。やらせではあるが、タクシーの中で燕尾服から学生服に着替えさせられ、服にしわが寄らないか心配したものである。この番組はゴールデンタイムに放映されたため、知人やご近所から色々な反応があった。行きつけの床屋では、この番組のあとからは、やたらと丁寧にやってくれるようになった。番組の最後で、このまま卒業すれば理工学部卒でなく、ダンス学部卒ということになるろうといわれたが、自分でもよく卒業できたと思っている。おかげで、今でも試験の夢をよく見る。

藤沢嵐子ご夫妻は目黒に住んでいた。何度かお宅に招待されたことがあった。初めてお宅を訪ねたとき、彼女のスッピンが真っ黒であるのに驚かされた。聞いてみると、ドーラン焼けと言うことであつた。当時はメイク用の化粧品が少なかったため、粗悪なドーランを使っていたのであろう。舞台上上がるときは我々もドーランを塗られたことを覚えている。とはいうものの、ダンスの種目の中で一番苦手なのがタンゴであつた。今にして思うとちょっと恥ずかしい気もする。「藤沢嵐子さん死去」の記事を見て、ご冥福を祈ると同時に、ダンスに明け暮れた学生時代が懐かしく思い出された。

## 同好会便り

### 第2回多摩地区プロバスクラブ合同ゴルフコンペの開催 米林会員

本年5月の第1回に引き続き第2回の合同コンペが、台風27号が関東地方に接近との予報の中で、10月24日（木）相武カントリークラブで開催されました。参加者は20名（八王子9名、日野7名、多摩4名）、午前中は雨も降らず風もなく、曇っていたものの比較的良好なコンディショ

ンの中でプレーができました。

午後からは、弱い雨が降り始めましたが、最後まで全員プレー出来た点は幸いでした。プレー終了後のパーティーも他クラブとの会話も弾み、前回より打ち解けた雰囲気の中で終了しました。優勝は馬場会員、前回に続いて八王子が2連覇し、ベストテンにも6名が入るなど八王子勢は今回も健闘しました。尚、来年の幹事クラブは多摩プロバスケットクラブの担当となり、相武カントリーで来年5月後半に実施する予定とのことです。多くの方の参加を期待しております。

### 東京八王子プロバスケットクラブ囲碁同好会2013(平成25)年秋期大会 山崎会員

10月30・31日の両日、囲碁同好会恒例の秋季大会が、紅葉の美しい陣屋温泉で開催された。会員7名と、友好クラブである多摩プロバスより2名の参加で、9名総当たり戦で、到着早々、昼食の蕎麦もそこそこに、熱戦を繰り広げた。夕食前に4戦、夕食後に2戦、翌朝2戦と強行スケジュールで行われた。そのため、温泉に入るのも、参加者が奇数のため対戦の休みの時間に一人ずつ入った。激戦を勝ち抜いた優勝者は、5勝3敗が3名いましたが、ルールにより山崎が初優勝し、春の優勝者の馬場会員より返還されたカップを受け取った。秋の陣屋温泉での夕食の猪鍋とヤマメは、酒の肴には格別で、激戦を忘れる一時であった。

### 俳句同好会便り 河合会員

私の一句～11月の句会から。11月に入り好天が続いた。たまたま今月の兼題は「小春」。暖かで春に似ている日々。いい句がたくさん生まれた。

小春日に妻を憶ひて布団干す 渋谷 文雄

小春の日、作者は布団を干しながら在りし日の妻を想う。胸にじんときる妻恋の秀句。

小春日や砂浴びしきり群雀 山形 忠顕

小春の陽射しの中で雀がしきりに砂浴びをしている。それをやさしく見守る作者。

本能寺ビルの谷間の吾亦紅 石田 文彦

歴史の大舞台も今は跡形もない。吾亦紅の花が揺れるのみ。そこに栄枯盛衰の極みを見る。

なにもせぬいちにちありて小春かな

池田ときえ

ひら仮名を多用し、柔らかく小春の一日を詠んで成功している。佳句。

小春日の夕陽に影絵風見鶏 立川富美代

夕陽のシルエットを生かして情緒ある一句にまとめた佳句。「夕陽に影絵」がうまい。

あのメロディーうつらうつらの小春かな

田中 信昭

うまい句。何とものんびりとした雰囲気。「あのメロディー」に連想が広がる。

水ひかる武田の里の小春かな 飯田富美子

ふる里武田の庄の小春日和。「水ひかる」に小春の明るさが表現されている。

富士澄みて小春日和高尾山 東山 榮

雲一つない小春の日。高尾山からの富士の遠景を詠んでスケールの大きな句。

小春の日野辺の日暮れを惜しみつつ 阿部治子

小春の気持ちのよい一日。野辺のあたりを逍遙し、早い日暮れを惜しみつつ家路につく。

小春日やにはか庭師のぎこちなく 馬場 征彦

良い天気じっとしていられず、慣れぬ手付きで庭の手入れを。「ぎこちなく」が微笑ましい。

風運ぶ里の匂ひや落葉焚 河合 和郎

今月は「小春」に名句が沢山。恐れをなして昔懐かしい落葉焚の句で。

### つぶやき

サッカーファンが多くなったとは言え、プロ野球はまだ国民の支持を保っている。常々思っていることのひとつに、ドラフト制度が幾分崩れている事がある。今のままだと巨人の優勝は永久に続くを見る。巨人に入りたいがために1年浪人すれば必ず入れる。他のチームで浪人して入った人は殆どいない。ルール違反していないが、こんなことが許されて良いのでしょうか。皆様のご意見をお聞きしたいが！（Y. N）

編集後記：本年も残り少なくなりました。良いお年をお迎え下さい。情報委員会 石田文彦